

焼 岳

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○ 概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1、図 2）

9 月 23 日、焼岳の南西側斜面から噴気が上がっているとの通報がありました。10 月 4 日に行った現地調査の結果、従来からみられていた弱い噴気が認められた程度で、特段の異常はありませんでした。また、山頂部の噴気にも特に変化はなく静穏な状況でした。

・地震や微動の発生状況（図 3）

焼岳付近を震源とする地震は観測されず、地震活動は静穏に経過しました。

○ 火山情報発表状況

火山情報の発表はありませんでした。



図 1 焼岳 南西側斜面および山頂部の噴気の状況（10 月 4 日、南側約 3 km から撮影）



図 2 焼岳 図 1 の噴気部分を拡大して撮影した写真（10 月 4 日、南側約 3 km から撮影）

※この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学および独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

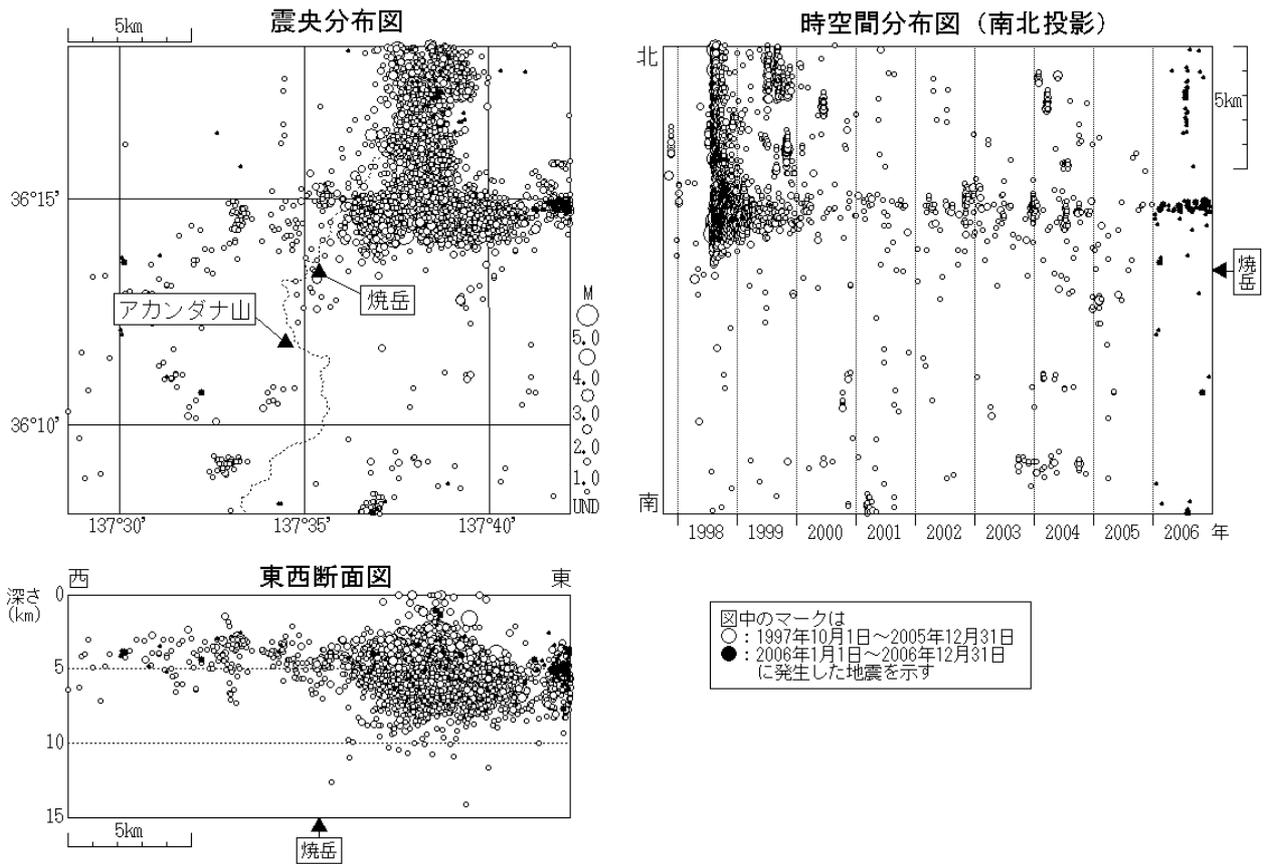


図3※ 焼岳 山体及びその周辺の地震活動（1997年10月1日～2006年12月31日）
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。資料中のMは一部暫定値が含まれており、
 後日変更することがあります。